

ICT活用レポート！（授業編）

第(3)学年（保健体育）科 単元名「水泳」での実践		
項 目	内 容	
ICT 活用の場面	水泳の泳法確認	
使用した ICT 機器	・TV、スマートフォン、接続ケーブル	
具体的な方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各泳法のポイントを知る。 ・水中での映像を用いることにより、具体的な自分の体の動かし方のイメージを掴む。 ・お手本となる動画を見て、目指すべき動きの形を確認する 	
成果と課題	○成果	△課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする形の手本を具体的に動画（インターネット）で確認することができた。 ・TV や動画を使うと、「非常に分かりやすい。」と生徒たちには大好評であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーム確認のためには、泳いでいるところを撮ることは、技能の向上に有意義であるとは思ったが、水着であることを踏まえ、行わなかった。 ・ICT 機器は水に弱いので、細心の注意を払う必要があった。
感想や改善策	<p>水泳の授業において、ICT 活用を図ったのは初めてであったし、この単元で研究授業を行ったのも初めてであった。プールという環境は、ICT の使いづらい場所の一つである。そんな中、水関係のトラブルに気をつけて使っていくと、生徒たちからは、「水の中で、こんな風に動いているなんて初めて知った。」「動画を見たら分かりやすい。」といった声が多数あった。</p> <p>単元を振り返ると、驚くほど、例年よりはるかに多くの生徒の泳ぎが上達し、泳法を身につけたり長く泳げるようになったりした。このことから、ICT 活用の有効性が十分に明らかになった。また、授業者がよりよい指導方法を調べ、実践を行い、反省点をフィードバックし、次の授業に活かすという過程をくり返す中で、よりよい授業づくりへとつながっていったと思う。</p> <p>外や水場は、ICT と相性がいい場ではないが、使用したときの効果は計り知れない。今後も生徒の大きな成長のために、ICT の活用方法について、考えていきたいと思う。</p>	